

書を愛する心

庄司 淺水

愛書はわれに書物の中、美と眞實の何物であるか、教へる。これは人をしらしめるパスポートのやうなものだ。眞の書物を識りこれを愛する術を會得せずば、未だ人間らしき人間と云ふことは出来ぬ

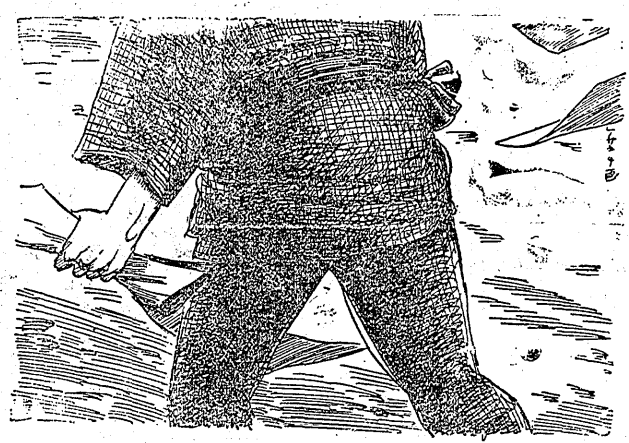
芒の原 青柳花明詩 芒の原の秋の空 風吹きやとんぱが 流される

新年短歌俳句募集 柳原 極堂 選 氷心子

行發日一十月二十 愛書とては、人生理想を制作せん

高橋是清 田中首相は與黨を激しく

小 野島 朝野共解散の覺悟を秘め 十二月九日、その氣風は



野島 朝野共解散の覺悟を秘め 十二月九日、その氣風は

納豆禮讚 荒井生 之等食品の殺菌作用は相 當効果的であり得やうと

院醫波難 小兒科 入院 應需 自炊の便あり

福永洋服店 特別賞付 贈懸 福永洋服店

諸機械製作販賣 會社 田邊製作所

院病濟共城磐 當務醫問專科各 院長 博士學士 久喜部谷長

開院 皮膚科 泌尿科 性病科 門專 江尻醫院

肺病ロクマク 其徵候としては原因なくして肩がこるとか 胸が痛むとか、汗が出るとか、軽く咳を繰り返す

吉田眼科醫院 醫學士 吉田 久雄 平町紺屋町 電話六八番

伊藤石炭店 東京九井邦實堂 茨城 兩縣特約

日東商會 右期間内特種價値段ノ外 粗景ヲ差上ゲマス

小料理開業御挨拶 永の間コンパルにて御ひきにして 頂きましたが、此度新町にて

互融會事業近况 融通自十月一日 現在 報告至十月卅一日

雪崩れ込む歳暮用品

鹽麩と果物で七十車

師走十日過ぎ、二萬六千噸に上るべく、三百噸以上に、織物類の人心の驚きとにこの比率で行くと蜜柑、柿十八噸は二十噸位に増加し、比類して思ひな糖等の果物は昨年比の三百、では無いかと豫想されて、しかりが推高ふ三四十噸から三百五十噸に居る。荷嵩も推高くなし、鹽麩は二百七十七噸か。

船溜場の狹隘から

水揚げが他港へ

工費十五萬圓で更に第二期の船溜場擴張工事を呼んで、港内四倉漁港に新しく、要町長の一行は既報の如く、此程出張陳情した。同港は去る昭和七年總工費四十四萬圓を投じて着工、現在北側船溜場入口の浚渫工事を終りて完成。港内約四千坪の船溜場に地船八十隻が收容

更生村の足跡

縣經濟更生課では来る二十年度の更生指定村關係者を招いて、各方面から綜合觀察指導の集會指導を行つ、今回の指導は今年最後のもので、再指導の足跡を再検討の事は、今師走の入貨合計は約計が八百八十四噸で、昨年十二月全月分の二萬三千三百五十四噸には勿論超過している、各方面から綜合觀察指導の集會指導を行つ、今回の指導は今年最後のもので、再指導の足跡を再検討の事は、今師走の入貨合計は約計が八百八十四噸で、昨年

精神界の新人

蓮沼門三氏講演會

十三日會では修養園去中から居る關係上入場多數、中央教化團體聯合會と連沼を豫想して居る。向同氏は十二日午後二時から三小學校に於て、山師範の出身で本縣會津生れと云ふ特殊の關係あり、現代精神界の新人として知

東北、北海道

主要問題

廣田首相 潮内相 島田農相 平生文相 島田農相 吉田内閣調査局長 松井東北振興調査局長 松井東北振興調査局長 松井東北振興調査局長 松井東北振興調査局長

きふ同情袋配

來る十四、五の兩日 團體幹部が町内歴訪

平窪村の合併調査

大体今月末で完了

反對の聲を聞きつつ、

明春交渉委員選任か

江筋の使用を禁す

チフス豫防のため

役場で町内に警告

安藤畫家告訴

脅迫された五十男

社員から除かれた

女が恨みの偽證

愈よ起訴近く公判

氣狂ひ小屋丸焼

ローソクの不始末から

逃走漁夫

巡査を殴つた

防犯週間

各町区から防犯週間を執り行う

入隊除隊

入隊除隊の件

天氣豫報

今晩は東の風曇雨模様

入隊除隊

入隊除隊の件

盛況御禮と(日)延案内

十二月二十日迄

福引大賣出し

三井呉服店

平町電 二三八

眼鏡

ガネ

最新式眼鏡

築新部理料

忘年会

新年會

住吉屋本店

電話一五九番

大和田醫院

松村醫院

吉田眼科醫院

安齋外科醫院

日當記

柴田書局

電話二二四番